



TITLE:

表紙・その他

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・その他. 物理化学の進歩 1942, 16(6)

ISSUE DATE:

1942-11-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/46326>

RIGHT:

第十六卷

第六期

物理化学の進歩

編輯主幹 堀場 信吉 (京都) 鮫島實三郎 (東京)

昭和十七年十一月

目 次

原 報

- 氣體爆發反應の研究 (第2報). 酸素, 水素熱爆發反應の不均
一性 後 藤 康 平... 141
- 氣體爆發反應の研究 (第3報). 爆發限界條件の理論的考察 後 藤 康 平... 152

紹 介

- 脂肪族炭化水素の燃焼に関する分光學的研究 早 川 晃 雄... 211
- 炭化水素の熱力學 (其三) 川 北 公 夫... 221
- 芳香族分子の置換反應に就て 山 北 逸 郎... 230

日本物理化学研究會刊行

京都帝國大學理學部物理化学研究室內

新維持會員殿

今回維持會員ヲ募集致セシ處 下記各位ノ御賛同ヲ得テ新入會有之候。

(申込順 昭和17年11月30日迄)

會 社 名	代表者名	口數
川西航空機株式會社	前 原 謙 治	一口
尼崎人造石油株式會社	西 川 亮 一	三口
宇部曹達工業株式會社	國 吉 信 義	一口
東洋紡績株式會社	谷 口 豐 三 郎	五口
關東電氣興業株式會社	淺 野 八 郎	二口
東洋化工株式會社	櫻 井 彌 一 郎	二口
鐘淵紡績株式會社	津 田 信 吾	一口
日本理化工業株式會社	高 橋 直 行	三口
理研金屬株式會社	山 本 孝 吉	一口
吳羽紡績株式會社	井 上 富 三	一口
帝國人造絹糸株式會社	永 田 與	五口
住友化學工業株式會社	續 祐 城	一口
旭ベンベルグ絹糸株式會社	立 川 正 三	一口
古河電氣工業株式會社		一口
日 光 電 氣 精 銅 所		一口

日本物理化學研究會々則

第 六 條 本會ノ維持ニ資スル目的ヲ以テ、年額貳拾圓(一口 貳拾圓)以上ヲ寄附スル個人又ハ團體ヲ維持會員トス。

日本物理化學研究會 維 持 會 員 入會申込書	No.
貴會へ維持會員トシテ入會シ、維持會費 口(年額 圓)引受申候也	
昭 和 年 月 日	
社 名	
代 表 者 名(印)	
謹誌恐附場所	

昭和 17 年 9 月 1 日 — 11 月 30 日迄新入會員 (普通會員)

田 中 四 郎	舟 木 修 二	宮 崎 正 義	木 下 秀 男	村 口 光 男
西 垣 貞 男	滿洲合成燃料株式會社錦洲工場		川 野 義 男	潘 貴
安全被筒株式會社札幌工場		劉 爾 夫	堀 俊 夫	渡 邊 惠 治 郎
嚴 松 書 店	若 國 吉 一	中 里 又 三	香 山 勳	李 東 在 業
田 代 三 郎	北海道人造石油株式會社		青 木 修 一	池 邊 清
望 月 昭	東 口 鐵 男	木 村 鐵	伊 丹 正 美	菊 池 亮
岡 本 剛	竹 内 綱 孫	際 田 尙 志	鹽 見 勉	西 岡 健 夫
滿洲石油株式會社	東洋高壓工業株式會社大牟田工業所		工 榮 英 司	若 木 重 敏
小 野 正 夫	川 島 光 守	林 文 隆	今 津 明	

會 費 領 收

自昭和十七年九月一日 至昭和十七年十一月三十日 (尊稱略, 金額略, 來着順)

普 通 會 費

池 邊 清	田 代 三 郎 (以上十九年度)			
丸善株式會社仙臺支店		西 岡 秀 夫	大和紡績株式會社廣島人絹工場	
國 分 欣 治	池 邊 清	石 川 左 武 郎	田 代 三 郎 (以上十八年度)	
小 松 和 藏	太 田 芳 雄	上 田 靜 雄	毛 利 廣 賢	眞 田 直 道
田 中 四 郎	谷 口 敏 勝	李 升 基	舟 木 修 二	和 田 務
宮 崎 正 義	木 下 秀 男	遠 水 永 夫	山 下 男 男	村 口 光 男
井 街 二	西 垣 貞 男	滿洲合成燃料株式會社錦洲工業		川 野 義 男
潘 賈	安全被筒株式會社札幌工業		中 西 彰	林 田 篤
劉 爾 夫	堀 俊 夫	中 野 常 治	渡 邊 常 治 郎	嚴 松 書 店
山 崎 俊	若 國 吉 一	中 里 又 三	香 山 勳	李 東 在 業
正 東 喜 義	田 代 三 郎	青 木 修 一		北海道人造石油株式會社
池 邊 清	望 月 昭	東 口 鐵 男	木 村 鐵	伊 丹 正 美
菊 池 亮	梁 事 元	石 川 左 武 郎	岡 本 剛	竹 内 綱 孫
際 田 尙 志	鹽 見 勉	西 岡 健 夫		滿洲石油株式會社
東洋高壓工業株式會社大牟田工業所		工 榮 英 司	若 木 重 敏	小 野 正 夫
川 島 光 守	林 文 隆 (以上十七年度)			

海 外 販

西 岡 秀 夫 (十七年度)

李 升 基 (十六年度)

終 身 會 費

今 津 明

維 持 會 費

關東電氣興業株式會社 (2口)
 鐘淵紡績株式會社 (1口)
 理研金屬株式會社 (1口)
 住友化學工業株式會社 (1口)

東洋紡績株式會社 (5口)
 日本理化工業株式會社 (3口)
 帝國人造絹糸株式會社 (5口)

東洋化工株式會社 (2口)
 宇部曹達工業株式會社 (1口)
 吳羽紡績株式會社 (1口)

各種測定器

光電管應用器具

光電照度測定装置

光電測光装置

紫外線測定器

光電池應用器具

照度計 透過率計

反射率計 比色計

マフフ照度計

陰極線オシログラフ装置

陰極線オシログラフ装置
並に附屬装置
ストロボ装置
各種發振器
並にブリツチ類

東京芝浦電気株式会社

K-7

昭和17年11月25日印刷
昭和17年11月30日發行

物理化学の進歩
第16巻 第6輯
(年6回刊行)

編輯者

堀場 信 吉

編輯者

堀井 松之助

編輯者

(西京3) 株式會社 似玉堂

京都府中京區御所三丁目

定價 60錢 (送料8錢)
會員會費1年分3圓

發行所
(入會申込所)

日本物理化学研究會
振替・京都6047番
(日本出版文化協會會員 No. 922005)

配給元

日本出版配給株式會社

販賣所

岩波書店

東京市神田區一ツ橋二ノ三
丸善株式會社京都支店

京都府中京區三條通

◇ 本誌に關する批評、注意、要求は京都帝國大學物理化学研究室内、水波英二宛に願ひます。

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by

Prof. S. Horiba, (Kyoto) and Prof. J. Sameshima, (Tokyo).

Vol. XVI, No. 6

November, 1942

Contents

Originals

- R. Goto: On Explosive Reactions of Gases. II. An Experiment which shows the Heterogeneity of the Thermal Explosion of Oxy-hydrogen Gas. 141
- R. Goto: On Explosive Reactions of Gases. III. Theoretical Consideration on Explosive Reactions of Gases. 152

Reviews

- T. Hayakawa: Spectroscopic Study on the Combustion of Aliphatic Hydrocarbons. 211
- K. Kawakita: Thermodynamics of the Hydrocarbon. III. 221
- I. Yamakita: Substitution in Aromatic Molecules. 230

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan

原稿募集

原報論文は本誌に発表された後、「海外版」にそのまゝ掲載され廣く外國に紹介される。「物理化学の進歩海外版」 (The Review of Physical Chemistry of Japan) は原報(本誌に掲載された歐米梗概付きの論文)及び抄録(吾國に於ける物理化学關係の報文全部の英文抄録)よりなり、吾國に於ける物理化学の研究を廣く世界に紹介する目的を以て發賣し、且つ各國の著名な大學、研究所、學者に頒布する。(戰前 900 部發行し、主として歐米に頒布した。現今は止むなく發送を中止してゐるが適當な時機に至れば再開する。)

物理化学の進歩投稿規定

1. 投稿欄は (A) 原報(速報、短報もよし)又は論説と (B) 紹介、講義、抄録、其他に分つ。
2. 原報論文は本誌に掲載せらるゝ以前に、他の邦文雑誌に發表せられざるものたるを要す。但し、綜合報告は此の限りにあらず。
3. 研究は物理化学に關するものにして、1) 本會商議員の研究又はその責任ある紹介によるもの、2) 大學教授によりなされたるもの或ひはその指導によりなされたるものに限る。
4. 上記 (A) 屬の論文は本文を和文とし、會誌二頁以内の歐文梗概を附すること。圖及び表中の説明は歐文として、歐文梗概にて參照して歐米人の理解に便ならしめる。
(B) 屬の論文は和文にて、圖及び表中の説明も和文とする。
5. 原稿は京都帝國大學理學部物理化学研究室内 日本物理化学研究會雜誌編輯部 宛送附の事。到着日を以て受領の日と定む。
6. 原稿は本會原稿用紙を用ひ、横書き、平假名(外國語は片假名或ひは原語)にて、推敲の上清書する事。用紙は請求により送附す。歐文(梗概)はタイプせられ度し。原稿に不備の個所ある場合には掲載が遅れることがあり、且つ字句の加除、修正を行ふことがある。
7. 圖面は白紙に墨書する事。その大きさは出来上りの2—3倍を適當とす。縮尺度は特に必要ある時は指定され度く、然らざれば編輯者に一任する事。挿入位置を原稿中に明記せられたし。寫眞もこれに準ず。
8. 文獻は (A) 屬の論文では脚註に入れ、(B) 屬の論文では末尾に一括する事。(本文中には文獻番號を必要個所の右肩に小さく記入する)。次の如く記載せられたい。
氏名：雜誌名(歐語ではイタリック字體にて) 卷(ゴジツクにて)、頁(年號)。
9. 數字はアラビア數字を、數量の記號、略字(省略點・を附せず)及び術語に就いては理化学辭典、化学語彙によられたし。
例. 78~85°C (攝氏七十八度乃至八十五度) 1935年5月5日 (千九百三十五年五月五日)
m (メートル) cm² (平方糎) cc (立方糎) L (立) mg (ミリグラム) kg (キログラム) min (分) hr (時) Atm (氣壓) mmHg (水銀柱の高さ) cal / (カロリー) kcal (キロカロリー) A (アンペア) V (ヴォルト) N (規定) M (モル) λ (波長) pH (水素指數) 等。
10. 別刷數を明記の事。但し 30 部は贈呈す。(不要の方は (B) 屬論文に限り薄謝を呈す)。

X 線

年四回 3, 6, 9, 12 各月 1 日発行

第三卷第三號内容

巻頭言

自然に生くる

研究

非晶固体に於ける細模卓組織の弛緩及び結晶核生成の機構…吉田卯三郎

ロツシエル鹽結晶による X 線反射強度に對する温度效果並

に電場效果について……………三宅静雄

天然及び水和纖維素の相互轉移の研究(其の三)……………久保輝一郎

綜説

油脂薄膜の電子線廻折検査……………田中憲三

抄録・本邦に於ける X 線學に關する文献(其の六)・學會消息

定價1冊50錢送料4錢・但し會員には無代贈呈・會費年2回申込次第會則送呈

發行所 大阪市北區中之島四丁目 X 線懇談會 振替大阪 122715 番
大阪帝國大學理學部内

物理化学の進歩

— 既刊號の残本定價頒布 —

第8巻 第1輯 定價 1 圓 (送料8錢)
 第2~4輯 各輯 定價 80 錢 (送料8錢)
 第9巻~第15巻 各巻第1輯~第6輯 (但し第11巻第1輯は缺本)
 各輯 定價 60 錢 (送料8錢)

〔各巻の總目次申込次第送附す〕

物理化学の進歩 歐文號

The Review of Physical Chemistry of Japan.

「物理化学の進歩」掲載の原報論文(歐文)及び我國に於ける物理化学關係の報文全部の歐文抄録。特に紙質優良。

第11巻~第15巻 各巻第1號~第3號
 各號 定價 80 錢 (送料8錢)

日本物理化学研究會

(京都市吉田
 京都帝國大學理學部物理化学研究室内)
 振替・京都 6047 番

化 學 と 資 源

第1巻 第1號

昭和17年12月

目 次

ジャワ酒精工場概況.....	加藤辨三郎
酸觸媒に依るアルコール類より直接高オクタ ンガソリンの合成に就て.....	松田 岩雄 高橋 孝夫
アセトン(その一).....	松澤 辰男
木材糖のデヒルアルコール醱酵.....	雪ノ浦哲夫
糖質原料よりアセトン・ブタノール製造に關 する文獻集(その一).....	土井 新次 根 元 茂
南方農産資源に就て(その二).....	阿 部 光

本誌は衣食住一切の必需品と國防資材とを最も合理的に製造すべき化學的方法の檢索をなし、併せて其の資源の調査と其の合理的處理に關する知識の交換を行ふことを目的とす。
奮つてこの趣旨に御賛同の上多數の御入會並びに御投稿を歓迎す。

年四回發行 一册一圓 會費年參圓

入會申込所 化學と資源研究會

東京市澁谷區代々木大山町一〇四五
協和化學研究所・振替東京八三五四

主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

月 刊 化 學 評 論

一册 60 錢
(送料2錢)
前金 一年6圓
(送料共)

第 8 卷 第 8 號

[312] 南方資源としての植物タンニン Mangrove に就て.....	理 學 士	川 中 達 雄... 437
[313] ソ聯に於ける地下瓦斯化法に就て.....	工 學 士	丹 阪 渡 男... 444
[314] 高分子分裂反應と其動力學.....	工 學 士	岡 村 誠 三... 455
[316] 主婦の生活と科學.....	工學博士	櫻 田 一 郎... 471

第 8 卷 第 9 號

[361] 炭化水素油の分子量測定に就て.....	工 學 士	芝 崎 一 郎... 477
[317] 合成タンニンに依る皮の鞣製に關する私見(Ⅰ).....	理 學 士	川 中 建 雄... 498
[318] 附屬燃料中の硫黄定量法.....	工 學 士	丹 阪 渡 男... 503

化 學 評 論 社

編 輯 所

京都市吉田 京都帝國大學
工業化學教室 喜多研究室
電話上九八〇番(學内十九番)

發 行 所

大阪市西區京町堀通一丁目
電話土佐堀二四〇・四六八番
振替口座 大阪一七六一三番

廣川書店發行・新刊書

東京市本郷區春木町二ノ五六・振替口座東京 82694 番・電話小石川 (85) 2369 番

理學士 神谷金剛 共著
藥學博士 長瀬雄三

A 列五號型
各卷三五〇頁内外

物理化學汎論 全三卷

最新刊 (上卷) 基礎物理學編 定價 四・〇〇 円二〇

本書は化學に關する精確な基礎的事項を系統的に述べ、これが應用に當つて正しい考察の道を得るために、(上卷) 既刊基礎物理學編、(中卷) 物理化學編、(下卷) 測定法編の三卷とした。

上卷に於ては物理化學の骨格である物理學上の現象に關する法則を高等物理學程度に於て述べ、中卷に於ては總べての化學反應を律する諸法則を上卷と對照させつゝ系統的に記述し、且つ應用方面に留意した。

下卷に於ては上卷、中卷に得たる基礎的理論に立脚して實際に且つ工業的に用ひられてゐる領域を、多數の實驗裝置圖を挿入して理解し得るやう説明を加へた。全編を通じて簡明に記述した故、理化學研究の基礎を把握し得るし、既得知識の整理に至便である。(中卷・下卷近刊)

物化學同好會編纂

A 列五號型
新編 8 ポイント活字
印刷用紙精良
¥ 3.80 20
¥ 千 60 外地

化學恒數表

本書は化學關係の學生用、即ち大學理工醫農各學部、高等工業學校、藥學專門學校等の教材實習用としては勿論、廣く一般の實用にも至便なる「恒數表」として編纂したものであつて、第一部重要物質恒數表、第二部實驗操作に必要な恒數表、第三部分析用諸計算表に配列し、内容は目次にまつて索引せらるゝ様にした。元來恒數表程正確嚴密を要するものはない本書は此の點に萬全の注意を拂つた。諸君に充分活用せられんことを冀ふ。(第一版の購讀者へ、正誤表及追加項目を過呈いたしますから御請求下さい)

藥學士 高野一夫 著

新藥學

B 列六號
四〇〇頁
¥ 3.50 千 .20

最新刊

本書は總論と各論とに大別し、總論に於ては新藥の分類、種類、七章に分ち、各論に於ては新藥の製法、原料、製造法、分析法、藥效、毒性、副作用、用法、注意、保存法、等々を詳述し、且つ最新の資料を採り、其の正確性を保つてゐる。此の點は、本邦の藥學界に於ては、殊に貴重である。本邦の藥學界に於ては、殊に貴重である。本邦の藥學界に於ては、殊に貴重である。

富士寫眞フィルム會社技師 長口宮吉 著

寫眞化學

¥ 1.80 千 .15

藥學士 樋口武夫 著

香粧品化學

¥ 2.00 千 .15

藥學博士 石渡三郎 著

有機化學 (全二冊)

上下 1.70 1.80
¥ 千 .15

藥學博士 石黒武雄 著

無機藥品製造化學 (卷上)

¥ 1.80 千 .15

藥學博士 津田恭介・宮木高明 共著

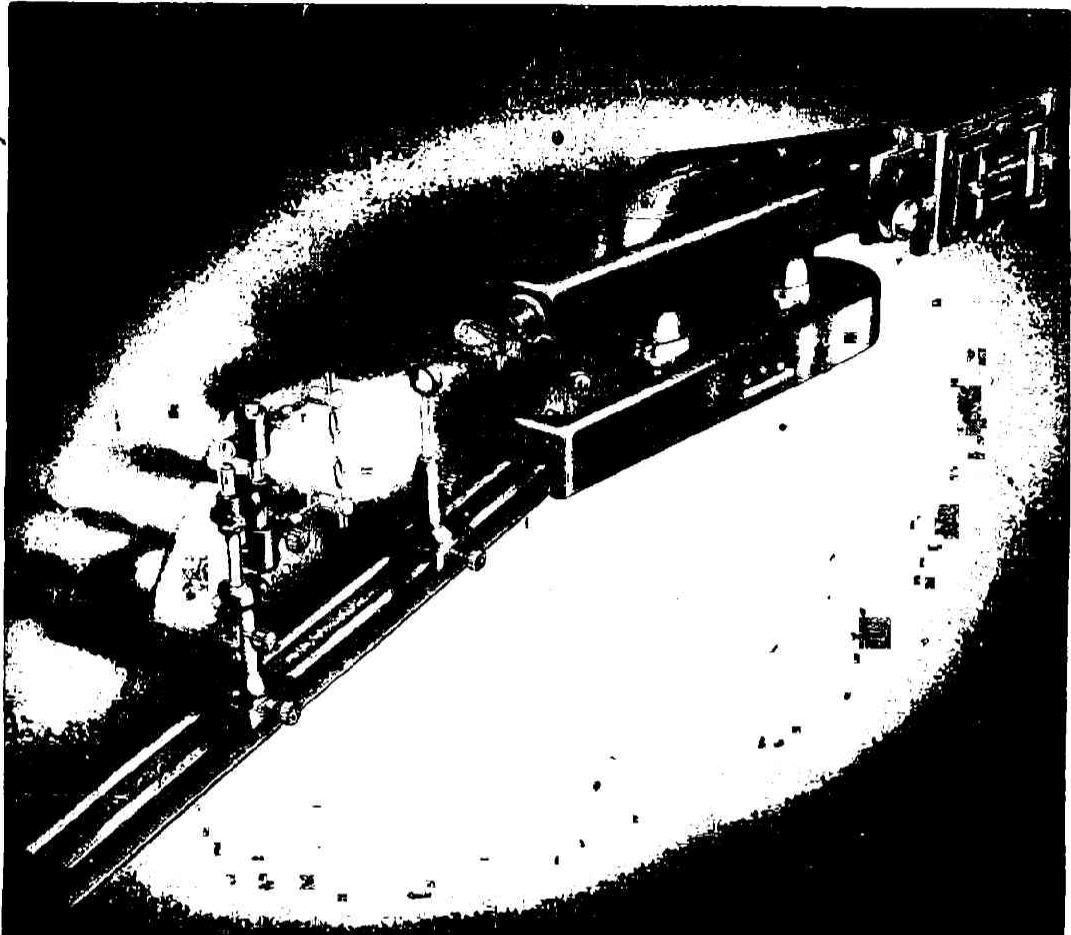
植物鹽基

¥ 2.80 千 .20

内務技師 湯川新太郎 著

毒瓦斯及試驗法

¥ 3.50 千 .20



島津分光分析装置

詳細型録送呈

島津製作所

京都・大阪・東京・福岡・新京・大連 奉天・北京・京城 瀋北・名古屋・神戸

財団法人 日本化学研究会編纂

主幹 理学博士 眞島利行

月刊

日本化学総覧

規格 B5 版・八ポイント横組・毎號 70 頁内外

日本化学総覧は我が國に於て發表せる理・工・醫・藥・農の諸學術方面に亙る雑誌・報告書・特許公報等約 500 種の原報より化学關係の業績は總て迅速に要點を抄録報導す。一讀よく本邦化学關係研究の報告及特許等の内容を容易且つ最も經濟的に知悉し得べく、研究家、實際家並に發明家の研究工夫に裨益する處尠からざるべし。毎卷完全なる「著者名及事物索引」を附す、本總覧の活用上必要缺くべからざるものにして、蓋し本誌の一大特色とす。

内容見本遺呈

會員略規

月刊雑誌「日本化学総覧」は本會會員に配布す。入會御希望の方は半ヶ年分以上の會費を添へて直接本會に申込まれたし。

通常會員の會費一ヶ年分（前納の事 2 回に分納可）次の如し

甲種（索引及製本用表紙配布）12,000 圓 乙種（索引配布）10,080 圓

〔化学關係學會員並に學生諸君には割引す： 甲種 9,090 圓 乙種 8,070 圓〕

— 待望の 日本化学総覧 完備す —

第一集 第壹卷—第七卷

（7冊）明治10年より大正15年まで50年間

本邦に於て研究發表せる化学及關係學術の文獻及び發明者苦心の成果たる特許（特許番號 No. 1 より集録）の内容を抜萃して集載せるものなり

第二集 第壹卷—第十五卷

（15冊）昭和元年以後の文獻を抄録集

載す。昭和2年以來毎月發行せる總覧を分冊したるものなり

定價各冊 ¥ 12.50 送料 ¥ .45

財団法人

日本化学研究会

仙臺市東三番町一八七
振替仙臺8158・電話仙臺4461

— 整 本 注 意 —

「原報」と「紹介」と各別々の通し頁なり

(紹介ページはイタリック) 尚ほ

Abstracts of the Physico-Chemical Literature in Japan

Vol. XVI

December, 1942

No. 3.

は次號第 17 卷第 1 輯附録として會員に頒布する

本 Abstract をも共に整本される方は次號到着まで待たれたし
